

## 平成26年度第1回我孫子市健康福祉総合計画推進協議会 会議概要

(1) 会議の名称	平成26年度第1回我孫子市健康福祉総合計画推進協議会				
(2) 開催日時	平成26年8月6日 午後2時から午後3時30分まで				
(3) 開催場所	議会棟 第1委員会室				
(4) 出席又は 欠席した委員 その他会議に 出席した者の 氏名  (傍聴人を 除く)  出：出席 欠：欠席	委 員 (市職員以外)				
	出	吉武 民樹	出 鈴木 孝	出 今井 厚子	欠 飯沼 トミ子
	欠	土井 紀弘	欠 小川 英郎	出 渡邊 慎	出 田中 純男
	出	入野 勢津子	出 成嶋 美代子	出 古野 民世	欠 後藤 晋作
	事務局その他市職員の出席者				
	健康福祉部				
	社会福祉課		渡辺課長、岡本主幹、山澤、斉藤、野村		
	高齢者支援課		森主幹、丸山課長補佐		
	障害福祉支援課		谷次課長補佐、菊地課長補佐、大野所長、金子所長		
	健康づくり支援課		小笠原課長補佐		
	国保年金課		山田課長補佐		
	子ども部				
	子ども支援課		広瀬主幹		
保育課		関根主幹			
子ども相談課		飯尾課長補佐、広瀬所長			
(5) 議題	(1) 第4次健康福祉総合計画主要事業の進捗状況について (2) 第5次健康福祉総合計画の策定について				
(6) 公開・非公開の別	公開				
(7) 傍聴人の数 (会議を公開した場合)	傍聴人の数	0人			

(8) 会議の内容【概要】

(1) 第4次健康福祉総合計画主要事業の進捗状況について	
発言者	内 容
事務局	資料に沿って、第4次健康福祉総合計画主要事業の進捗状況について、説明。 (主な要旨) ・後期計画の施策体系・主要事業をライフステージに沿って、各事業の25年度の実績及び26年度の予定の報告。 事業内容・指標・指標値等を変更した事業は、9事業。内訳は、指標・目標値等を変更する事業が5事業、事業廃止が3事業、新規事業が1事業。 ・健康福祉部と子ども部の平成26年度新規事業を当初予算ベースで、新規事業の説明及び6月補正の主な事業内容
渡邊委員	天王台地区の特別養護老人ホームの完成について、各特別養護老人ホームでは300～400名の待機者がございます。そのうち100名近くの方が解消されることとなりますので、ぜひ今年度中の開設を望んでいます。
高齢者支援課	天王台地区の開設は、来年の3月には建物の竣工、4月1日開設予定としています。施設の詳細については、10月1日号の広報に掲載予定です。
吉武会長	各特別養護老人ホームでの300～400名の待機が、来年度の開設でどの程度緩和する見込みになりますか。
高齢者支援課	昨年のアクイールの開設時にもその傾向がありましたが、広報等に特養開設の掲載をすることにより、新たに100名程度申込される方がいるというのが現状ですので、まだまだ緩和するということになりません。

(2) 第5次健康福祉総合計画の策定について	
発言者	内 容
事務局	<p>第5次健康福祉総合計画後期計画書素案について説明。 (主な要旨)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・策定方針では、本計画は、健康福祉部・子ども部における各計画の上位計画の位置づけとすること、これに伴い、これまで内包していた「障害者計画」は、「障害福祉計画」とあわせて今年度策定し、障害者施策全般に関する基本計画として位置づける。また、第5次計画では、分野計画との役割を整理し、本計画の基本理念と方向性を踏まえて、個別計画では、より専門的・具体的に施策展開や事業の進行管理等を推進する。</li> <li>・基本理念は、各分野別計画に共通するテーマとして、第2次計画で掲げていた「安心とゆとりの健康福祉都市我孫子をめざす」とする。</li> <li>・計画期間は、は平成27年度から31年度までの5カ年。社会福祉法に規定された地域福祉計画を兼ねる。</li> <li>・計画の目標は、計画の達成の指標として、企画課が実施している「市民アンケート」において健康福祉施策に対する7項目の満足度を約5ポイント改善する。また、ライフステージ(5ステージ)ごとに基本目標を定める。</li> <li>・第3節では、「健康福祉の現状と課題」として、我孫子市の人口推計状況、また、児童、高齢者、障害者、健康と医療をとりまく現状及び個別計画で取り組む課題、「健康寿命延伸事業」「地域包括システム」等、今後取り組んでいく課題について記載する。</li> <li>・2章では、施策の体系についての掲載。第1章にしめした基本理念及び目標を踏まえながら、施策の体系全体を記載。</li> <li>・施策体系では、ライフステージごとに基本目標、施策方向、施策、主な取り組みの記載をする予定。</li> <li>・各担当課から個別計画の概要と時期について説明。</li> </ul>
鈴木副会長	<p>今回の計画は27年度からスタートする上位計画なので個別計画は整合性、連携という点に十分注意して進めてほしいと思います。 第3節「健康福祉の現状と課題」について以前は章立てだったが、今回、節になっているのはなぜですか。</p>
事務局	<p>「健康福祉の現状と課題」については、ボリュームを減らした関係で節だてにしています。いままでは各課大量のデータを掲載していましたが、今回は主だったところだけのデータにしました。いままで通りの方がよろしいでしょうか？</p>
鈴木副会長	<p>上位計画なので、これを見たら全てがわかるように、いままで通りデータは入れた方が良いのではないのでしょうか。その点についてはご協議いただきたいと思います。</p>
吉武会長	<p>特に、市民の関心のあるようなこと、例えば生活保護に関するデータなどは、全国、千葉県、我孫子市を並行して載せると我孫子市の特質がわかって良いと思います。</p>
古野委員	<p>ひとり親の会での最近の問題として、仕事をしながら、子育てしながら、介護もしなければならないというケースが増えています。 精神的な面からも大変なことです。「早急に進めるべきこと」を見極めて進めることが大切なことだと考えます。</p>
高齢者支援課	<p>仕事、子育て、介護をしているという家庭については、関係機関と連携するよう心掛けています。 要望があればご相談していただきたいと思います。</p>
成嶋委員	<p>障害者に対するグループホームの増設は、住み慣れた土地で暮らしたいという思いを汲んだ計画として考えていただきたいと思います。</p>

障害福祉支援課	<p>障害者が高齢化した場合、通常の高齢者施設にスムーズに移行できるかも含めて、課の重点項目として、現在、施設の在り方自体を調査、検討中です。</p>
入野委員	<p>我孫子北地区に住んでいますが、65歳以上の高齢者が42,3%で独居も多いです。高齢化率がすでに問題になっている地区は、特別養護老人ホームの建設など早急な対策が必要と思われます。 また、こども発達センターの入所順番待ちが多いと聞きましたが、発達支援員は増えたのでしょうか？</p>
高齢者支援課	<p>現在、特別養護老人ホームの待機者は400人前後の方がおられます。昨年、五本松公園近くに、100人規模の特別養護老人ホームアクイールがオープンしました。その際、100人の定員に対して、要介護4・5等入所の必要性の高い方から順にお声をかけ200人以上の方にあたっています。実際にご案内すると、まだいいですと辞退する方もおられ、すぐに入所される方の割合は介護度の高い方でも実質半分以下ぐらいになるかと思われ、待機者イコールすぐに入所を希望する者ではないということになります。 来年度、あおいの里（柴崎）に100床開設予定ですので、さらに入所希望の待機者は解消できると思います。 次年度以降の特別養護老人ホーム増設については、市民会議のなかで、協議検討していきたいと思います。</p>
こども発達センター	<p>こども発達センターの職員については、増員予定です。昨年の待機児童は56名でしたが、それには、育休産休中の職員が3名いる影響も考えられます。場所不足についても増設中です。</p>
吉武会長	<p>最後に、私の方から2点お話ししたいと思います。 ①高齢者すべてが直ちに福祉サービスの対象者になるというわけではないという認識が必要であると思います。介護保険の全国的な状況では、介護認定を受けている高齢者は6分の1、そのうちで介護サービスを使っている人は7分の1つまり、逆に言えば6分の5は介護認定を受けていないということです。例えば、定年など日本では年齢で線引きをする場合がありますが、福祉サービスも年齢で線引きするという発想はナンセンスです。少子高齢化の中で若い世代に頼ってサービスを受けるといった考えでは破綻する可能性があります。当事者の高齢者自身が何をできるか検討することが重要だと思います。 ②今回の計画の中で在宅医療についての議論を始めるべきだと思います。例えば、柏市の豊四季団地（高齢化が進んでいる）では、東大の研究所、柏医師会、柏市の病院、豊四季団地の住宅公団が協力して、団地の中に医療と介護機関を呼び込み、在宅医療を進めています。団塊世代が後期高齢者になる2025年くらいには、急速に疾病率が上がり受診率も上がるが見込まれるため、現在の医療・介護の在り方で対応できるのかという問題が出てきます。我孫子でもいづれ起こる問題です。幸い近隣の松戸、柏では在宅医療に熱心に取り組んでいますので、これらを参考にして、たとえ具体策はでなくとも方向性だけでも議論を始めるべきだと思います。</p>

事務局	<p>本日は貴重なご意見、ありがとうございました。</p> <p>今回、いただいたご意見を持ち帰りまして、再び検討を行いたいと思います。</p> <p>今年度は、協議会をもう1回開催いたします。次回は10月に開催を予定しております。その際にはさらに検討を重ねた原案を提出したいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>また、本日お話ができなかったこと、後日気がついた点、その他ご意見やご質問などございましたら、事務局までご連絡いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
吉武会長	<p>それでは、これを持ちまして、平成26年度第1回健康福祉総合計画推進協議会を閉会いたします。</p> <p>本日はお忙しい中ありがとうございました。</p>